

## 令和3年度 第2回住吉区防災専門会議 会議要旨

1 日 時 令和3年10月27日（水）午後6時30分から午後8時10分

2 場 所 住吉区役所4階 第4、5会議室

3 出席者

（委員） 生田委員長、石橋委員、上田委員、小林委員、篠原委員、西上委員、  
原田委員、松岡委員

（区役所他） 区長、副区長、地域課長、地域課長代理、地域課担当係長、  
危機管理室自主防災組織力向上アドバイザー、住吉消防署地域担当司令

4 報告事項

- (1) 令和3年第1回住吉区防災専門会議での意見に対する対応方針について
- (2) 令和3年度第1回区政会議における防災に関する意見要旨について
- (3) 令和3年度防災の取組（新規項目）について
- (4) 令和3年度防災情報の全戸配布について

5 議題事項

- (1) 令和3年度住吉区総合防災訓練について
- (2) 令和4年度防災の主な取組について

6 議事要旨

### ■ 報告

- (1) 令和3年第1回住吉区防災専門会議での意見に対する対応方針について
  - ・ 福祉避難所等開設動画について、作成次第ホームページ等にアップロードすることが望ましいとの意見について、Youtubeに掲載予定である旨の対応方針を説明した。
- (2) 令和3年度第1回区政会議における防災に関する意見要旨について
  - ・ 災害時の発信として、より多くの区民が情報を得られるような工夫を行ってほしいという意見事前について、情報発信の手段やタイムライン等の説明を行った。
  - ・ 委員より、災害時の情報取得ツールとして、ラジオが一番確実なので、コミュニティFMが活用できないかとの提案があった。
- (3) 令和3年度防災の取組（新規項目）について
  - ・ 大阪市立大学都市防災教育センター（CERD）において実施していただいている、コミュニティ防災人材プログラムについて、プログラムの内容や実施内容、今後の実施予定などの説明を行った。
  - ・ 委員より地域の受講者の受講後の役割についての質問に対して、個々の防

災スキルアップだけではなく、所属しているコミュニティのメンバーに広げていっていただけるような人材になっていただき、コミュニティ同士のつながりづくりを目的としている旨の説明を行った。

(4) 令和3年度防災情報の全戸配布について

- ・ 今年度に全戸配布を予定している防災情報リーフレットについて、災害の種別（水害、地震、台風）ごとの開設避難所や避難行動等の掲載内容や配布時期について説明を行った。
- ・ 委員より、地震において直下型と海溝型（南海トラフ）によって異なるので、避難行動の違いが分かるように掲載したほうが良いのではないかとの意見について、基本的な避難行動は同様であり、津波における避難行動については、水害ハザードマップに掲載していることから紙面等の都合上、本リーフレットにおいては水害、地震、台風の種別を掲載させていただき、来年度の全戸配布の際の検討事項とさせていただきたい旨の説明を行った。

■ 議題

(1) 令和3年度住吉区総合防災訓練について

- ・ 令和3年度住吉区総合防災訓練について、概要や各避難所における訓練規模、総合防災訓練に向けて各地域で実施した模擬訓練の実施内容等の説明を行った。
- ・ 地域の方々にご協力をいただいて撮影した、町会エリア一時避難場所における町会本部開設運営手順の動画を視聴した。

(2) 令和4年度防災の主な取組について

- ・ 令和4年度防災の主な取組（案）について、備蓄物資の配備や災害時用タブレットの配備、防災力向上に向けた研修会等の実施、福祉避難所等の開設運営訓練の実施等、8項目について説明を行った。
- ・ 委員より次のような意見や提案があった。
  - ▶ 遠里小野、清水丘、苅田南地域は大和川が氾濫した場合、被害が大きくなるため、堤防を補強するなどの働きかけをしてほしいとの意見があった。
  - ▶ 地域見守り支援事業における個別避難計画の作成について、他都市においてはケアマネージャーや担当相談員等の福祉専門職を活用し、1件作成ごとに補助金を出して、非常に作成が進んだという事例を聞いているので、そのような手法の検討も効果的ではないかとの提案があった。
  - ▶ 福祉避難所における避難について、災害対策基本法の改正に伴い、福祉避難所への直接避難を進めるような趣旨の文言があったとの意見に対して、当該趣旨の文言があることは認識しているが、被災地において実際に福祉避難所に直接避難し、福祉施設が混乱したとの情報があることから、引き続き災害時避難所でトリアージのうえ、福祉避難所への避難を区災害対策本部が判断することとする旨の説明を行った。